

## マシジミ

一般的に食用に使われるのは、本種ではなくヤマトシジミです。淡水に生息する二枚貝で、殻の幅は3 cm程度まで成長し、殻の表面は黄褐色や茶褐色です。

河川の中流域や田んぼ周辺の水路などに生息し、砂や泥の混じったところを好みます。水質が汚いところやヘドロが溜まっているようなところは好みません。

食べ物は、水中にある藻類や底質の有機物などを、エラで濾(こ)して食べます。

繁殖期は4月～10月です。雌雄同体(しゅうどうたい)であるため、繁殖の際は他の個体の遺伝子は必要ありません。卵胎生(らんたいせい)で、体の中で卵を孵(かえ)し、幼生が稚貝(ちがい)になったら放出されます。



### 富士市での現状

富士早川や有無瀬川、田んぼ周辺の水路等で確認しました。

マシジミを確認したメッシュ

